

組踊を観光資源に

読んで
読学
NIE

組踊のユネスコ遺産登録を記念した夕涼み鑑賞会が3日午後6時から浦添市の組踊公園で開かれる。入場無料。沖縄の文化を活用して新たな観光資源の発掘に取り組む県の文化観光戦略推進事業の補助を受け、JTB沖縄や舞台関係者らでつくる「組踊文化観光促進コンソーシアム」の主催。組踊を初めて鑑賞する人を対象に、沖縄芝居実験劇場が組踊版「ももたろう」を上演する。鑑賞会では、組踊に関する理

きょう「ももたろう」無料上演



解を深めてもらおうと、上演前に解説もある。8月30日に琉球新報社を訪れたJTB沖縄事業開発課グループリーダーの小宮啓

明さん＝写真右、小橋川葉留奈さんは「子どもも楽しめる内容となっている。この機会にぜひ組踊がどんなものなのか体験してほしい」と来場を呼び掛けた。

同社は組踊と観光産業を結び付けようと、県外からの修学旅行生向けの上演会も実施する。

組踊上演のほか、浦添市浦西青年会のエイサー、勢理客の獅子舞保存会の獅子舞も披露される。

開場は午後5時で、雨天の場合は中止。

問い合わせはJTB沖縄地域交流事業部 ☎098(860)7704(3日午後1時まで)、090(6869)5815(同日午後1時～午後6時)。